

事業所における自己評価総括表

事業所名	LITALICOジュニア尾久教室 児童発達支援
事業者向け自己評価表作成日	2026年3月2日（月）
自己評価総括の担当者	亀井友暁、本田愛美、長南千夏、寺尾千慧

	実施期間	有効回答数(回答者数)	有効回答数(対象者数)
保護者評価	2025年12月19日(金) - 2026年1月29日(木)	41	45
従業員評価	2025年12月19日(金) - 2026年1月29日(木)	10	10

各評価を受けて事業所内で分析した強みと弱み

事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること ・スタッフ間あるいは園との情報の共有をはじめとする連携が綿密に図られている。 ・お子さんに合わせたバリエーション豊富なプログラム内容。	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること その日のお子さんのご様子に合わせたプログラムの変更や落ち着けるスペースや方法の提示など臨機応変に対応すること。
---	--

過去の取り組みや課題の振り返り

工夫していることや意識的に行っている取組等 ・毎日の終礼の際に、支援内でのスタッフの疑問やフィードバックの際に上がった質問に対して、共有・検討をする時間を設けている。場合によっては後日スーパーバイザー同席のもと会議を行っている。 ・お子さんの好きなものに関して、ブレインストーミングを行いその記録を残すことで、すべてのスタッフがお子さんの好きなものを把握できたうえで支援を行える仕組みになっている。	事業所として考えている課題の要因等 研修で学んだ内容のPDCAをまわす仕組みや機会が少なく、スタッフのスキル定着に時間がかかっている。またクールダウンスペースの設置などの集団の中で環境の構造化が不十分である。
--	--

さらなる充実と改善への取り組み

さらに充実を図るための取組等 フィードバックの時間に限定せず、適宜相談支援やペアレントトレーニングのご提案をしたり、送り迎えの際にも積極的にコミュニケーションを図る。	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 ・スタッフ間で支援の精査・振り返りを行う機会を創出する。 ・場の構造化、時間の構造化の観点でお子さんが取り組みやすい環境整備を行う。
---	--